

令和8年度 文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果について

深冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今春に6年生児童を対象に実施されました標記調査の結果につきまして、このたび校内での分析も終え、本校全体の児童の課題や改善の方向について以下のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

国 語

算 数

今回の調査における課題

- 「書くこと」の構成・引用力
→文章構成の構想や根拠の引用
→目的や意図に応じた文章表現をする力
- 思考の発展・深化：聞き取り
→話し手の考えを踏まえ自分の意見をまとめる
→受け取った情報を自分の思考へ展開すること
- 解答ペースの確保：
→記述や思考に時間を要して時間切れの可能性

- 立方体の体積計算や体積の意味
→空間の広がりや量を量としてとらえ、公式を適用する理解
→2量の関係整理と立式（割合・単位量）
- 単位量あたりの大きさや割合の計算
→2つの量の関係性をとらえて、正しく立式する思考力
→データの分析と根拠のある説明
- 複数の表の理解や二次元表
→複雑な情報から必要なデータを抽出し、比較・整理して言語化する力

改善の方向

記述・引用のフレームワーク化

モデル文や構成シートを活用し、根拠を引用して根拠立てて書く活動を増やし理解を深める。

思考を言語化するプロセスの強化

「聞く・読む」で終わらず、比較・反論・振り返りを経て自分の考えを再構築する言語活動を取り入れる。

時間配分を意識した学びの習慣

決められた条件や制限時間内で情報を処理し、記述を書き切るタイムマネジメント力を授業内で育む。

「図解」と「言語化」を往還する授業づくり

「なぜこの立式になるのか」言葉や図で説明する活動を通して具体と抽象を交互に行き来する理解を促していく。

他教科と連携した「データの活用」指導

他教科の学習の時間と連携し、二次元表や複数の資料を活用する。情報を読み取り、根拠を添えて導き出す活動などを効果的に展開していく。

思考プロセスを可視化する対話的学び

解法の成否だけでなく、「どのように考えて立式したか」や間違いやすい処理のポイントを伝え合い、自分の言葉で思考を整理・再構築できる学びの機会を作る。

【生活面】

《全国平均より上回っている項目》

- ☐ 将来の夢や目標を持っていますか。
(肯定的な回答をした児童91.7% ※全国平均81.8%)
- ☐ 学級生活をよくするため、学級で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
(肯定的な回答をした児童87.5% ※全国平均81.5%)
- ☐ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
(肯定的な回答をした児童100.0% ※全国平均95.8%)
- ☐ 学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。
(肯定的な回答をした児童83.4% ※全国平均75.0%)
- ☐ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
(肯定的な回答をした児童95.8% ※全国平均80.1%)
- ☐ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
(肯定的な回答をした児童91.6% ※全国平均70.6%)

《全国平均より下回っている項目》

- ☐ 毎日同じくらいの時刻に寝起きしていますか。
(肯定的な回答をした児童77.1% ※全国平均86.7%)
- ☐ 自分には良いところがあると思いますか。
(肯定的な回答をした児童83.4% ※全国平均85.6%)

※子どもたちが周囲に支えられ良好な環境で学んでいることが分かりました。「人の役に立ちたい」「社会を良くしたい」という意欲が高く、ご家庭での学習に関する対話や、学校でいつでも大人に相談できる安心感が、豊かな協調性や思いやりを育む基盤となっています。一方で基本的な生活習慣と自己肯定感の意識には課題が見られます。就寝・起床時刻が不規則な児童の割合が全国より高い傾向にあります。ご家庭と学校で共通理解のもと、生活リズムを整えることを通して、「自分の良さ」を感じる意識を高めていけるよう支援していきます。

【学習面】

《全国平均より上回っている項目》

- ☐ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。
(肯定的な回答をした児童100% ※全国平均91.4%)
- ☐ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
(肯定的な回答をした児童95.5% ※全国平均77.9%)
- ☐ 授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。
(肯定的な回答をした児童87.5% ※全国平均80.8%)
- ☐ 先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思いますか。
(肯定的な回答をした児童91.7% ※全国平均87.3%)
- ☐ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。
(肯定的な回答をした児童91.7% ※全国平均85.7%)
- ☐ 学習した内容について、分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
(肯定的な回答をした児童91.7% ※全国平均78.4%)

《全国平均より下回っている項目》

- ☐ 学校の授業時間以外に、普段の平日1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか。(塾や家庭教師の先生に教わっている時間も含む) ※1日30分以上と答えた割合
(肯定的な回答をした児童50.1% ※全国平均79.0%)
- ☐ 昼休みや放課後に本を読んだり、借りたりするために学校図書館、にどのくらい行きますか。
(肯定的な回答をした児童16.6% ※全国平均48.3%)

※家庭での学習時間の少なさと図書館の利用頻度の低さが顕著にみられます。ご家庭と連携して学習リズムを整えるとともに、日頃の頑張りを認めて自己肯定感を高める働きかけを行ってまいります。併せて、図書館の活用などを通して読書に親しむきっかけを広げていきます。

今回明らかになった課題の解決に向け、授業改善等に取り組んでまいります。